

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	各利用者のその時々状態等の理解力に欠けており、間違った声掛け、言葉使いがある。	個々の人格、状況等考慮した上での声かけ、対応を行う。	ミーティング時の事例等の検討を行い統一したケアを行う。勉強会にて知識を得、日々のケアにてセンスを磨いていく。	3ヶ月
2	43	利用者の能力を生かす統一したケアに欠ける。	利用者個々の能力を生かすケアを話し合い、検討し、決定したことは全職員が行いケアの統一が出来る。	外部評価項目の見直し、利用者に当てはめての、検討を行い決定していく。	2ヶ月
3	6	言葉による拘束、意思疎通の難しい利用者への介助の仕方の問題がある場面がある。	各利用者を理解し、状態を把握したうえでの支援が出来る。	ミーティング時、身体拘束が成されていないか検討、確認を行い、定期的な勉強会を実施し、研修の参加を試みる。	2ヶ月
4	1	理念の共有と実践が全職員出来ているとは言えない。	理念の共有と実践が全職員できより良いケアが出来る。	ミーティングの度に共有、実践度の確認を行い全職員が出来る様に取り組む。	3ヶ月
5	23	日々の会話や表情から希望や意向を把握しており様式等の利用を行っていない。	様式の活用を行い更なるケアを目指す。	一部センター方式を活用し全利用者行い意向や希望の把握を行い全職員で取り組んでいく。	4ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。